

長野県南佐久郡における中学校部活動の 地域クラブ移行に向けた取り組み



令和5年10月23日 南佐久郡中学校部活動運営委員会

はじめに…南佐久郡について

取り組みの経過

令和3年までの取り組み

令和4年度の取り組み

現状と課題

令和5年度の取り組み

持続可能な部活動にするために

はじめに

【長野県南佐久郡の概要(6町村)】

・長野県の東部に位置し、小規模な2町4村、6つの自治体により構成



はじめに

南佐久郡の概要

- 農業が主産業の中山間地域 標高700M以上
花卉栽培(菊、カーネーション、アルストロメリア)
果樹栽培(りんご、プルーン)、
高原野菜



pixta.jp - 9538008



はじめに

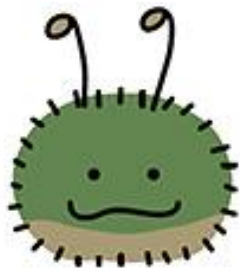
南佐久郡の概要

- 観光資源
 - 八ヶ岳高原
 - 奥秩父
 - 東京への時間的な近さ
(新幹線、高速道路)



はじめに

- 観光資源
北八ヶ岳苔の森



キャラクター
こけ丸くん



はじめに

【長野県南佐久郡の概要(6町村)】

- ・人口22,612人
- ・小さな中学校が4校 全体で536名

536名

	令和4年4月	進学先中学校	小学校
佐久穂町	10,034	佐久穂中 271名	佐久穂小学校
小海町	4,208	小海中学校 110名	小海小学校
南相木村	933		南相木小学校
北相木村	686		北相木小学校
南牧村	3,003	南牧中学校 80名	南牧北小学校 南牧南小学校
川上村	3,748	川上中学校 75名	川上第一小学校 川上第二小学校

正式名 小海町北相木村南相木村組合立小海中学校
…日本で一番長い名前の中学校

取り組みの経過

1 現状の把握と課題の共有

(1) 南佐久4校は、それぞれ生徒数の減少による
部活動の運営の厳しさを痛感

<佐久穂中学校の例>

① 令和2年11月19日付 佐久穂中学校スポーツ文化芸術部活動運営
委員会の保護者宛て文書

内容 生徒数の減少に伴い、チームとしての活動が困難になる
部活動の統廃合の検討

② 令和3年 1月20日付 佐久穂中学校長より保護者宛て文書

内容 部活動運営委員会を受けた今後の見通し

部活動の休部及び廃部の原則ルールの明示

人数不足が原因で2年連続して出場できない場合は募集しない

取り組みの経過

1 現状の把握と課題の共有

<南牧中学校の例>

①令和3年2月18日付 PTA会長より南牧村教育長への要望書の提出

内容 町村をこえた拠点校方式による部活動の運営
学校単位の部活動に変わりうる生徒のスポーツ活動の機会
の確保

なぜ、そのスポーツをやりたい子どもがそれができないのか
都市部と違って、クラブチーム等の選択ができない
子どもの夢を摘み取っていないのか

取り組みの経過

1 現状の把握と課題の共有

(2) 令和2年7月17日 郡教育委員及び校長会合同研修会

- ・南佐久郡の校長会からの報告
- ・内容 4中学校の生徒数の推移と部活動の削減の見通し
拠点校方式による部活動への提言

衝撃を与えた、3人でのバレーボールの練習の映像
教育委員一同に、危機感を共有
子どもたちのために何とかしよう

(3) 南佐久郡中学校校長会と教育長会で、検討を重ねる

取り組みの経過

2 拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

(1) 地域と協働・融合した部活動のあり方についての方針

令和2年度9月1日 「学校の働き方を踏まえた部活動改革」の明示

- ・部活動を地域に移行する
- ・休日の部活動の段階的な地域移行
- ・令和7年度末を目途に移行

(2) 令和3年5月27日 南佐久郡町村教育長会合同研修会

- ・中学校の部活動の地域クラブ移行についての理解を深める

課題・・・ 合同部活動と地域移行との連動

取り組みの経過

2 拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

(3) 令和3年8月31日 南佐久郡町村教育長会

- ・南佐久の方向性(単独or複数)
- ・拠点化方式合同部活動と地域クラブ移行の同時進行
- ・そのための運営方法や財源

(4) 令和3年10月21日 南佐久郡町村教育長・校長会合同研修

- ・拠点校方式合同部活の理解
- ・地域クラブ移行への可能性

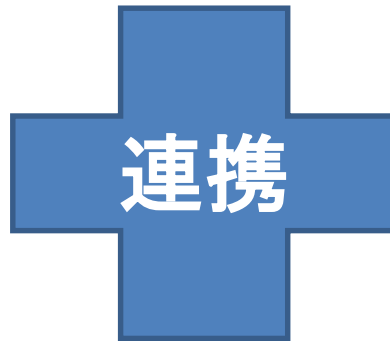
- 課題・・・
- ① 合同部活に対しての県中体連の見解が明確でなく南佐久チームとして出場できるのか？
 - ② 合同部活の運営母体や運営費用は？
 - ③ 地域クラブ移行との同時進行は？

取り組みの経過

2 拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

中学校長の情報交換

- ・各校の実状と課題整理(部活・指導者、等)
- ・推進計画、移行の素案



教育委員会との連携

教育長、教育委員会(学校教育・社会体育等)、校長

- ・趣旨の共通理解(学習会の実施、等)
- ・検討(予算、事務局、推進、等)

取り組みの経過

2 拠点校方式合同部活動と地域クラブ移行の推進

(5) 目指す方向性の確認

- ・生徒がやりたいスポーツができる環境づくりをする。

拠点校方式の合同部活と休日の部活動の 段階的な地域移行を同時に行うために

○R4地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業に申請

(休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究)

- ・南牧中学校が申請
- ・南牧村教委指導主事(村費)がコーディネーター

2つの課題が解決・・・ 運営費用の捻出と運営母体の検討
地域移行との同時進行の推進

○南佐久郡中学生部活動運営委員会(仮称)の立ち上げ

(6町村教育長と事務局、4中校長)

取組の経過

【南佐久(6町村)】

- 佐久穂町
- 小海町
- 南相木村
- 北相木村
- 南牧村

R4 地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業

▪ 川上村

後半の半年で合同部活と地域移行の試行

○小学校 8校

○中学校 4校

(組合立含む)



南佐久の取り組み

休日の部活動の段階的な地域移行

南佐久の中学生が
「やりたいスポーツ」
に参加できる環境づくり

南佐久全体で



子どもたちが主役の
子どもたち自身のための
持続可能なスポーツ活動

と同時に

を

推進して

を実現する

子どもたちがどのような スポーツ・文化活動の環境を望んでいるか

部活動に係るアンケート実施(令和4年7月)

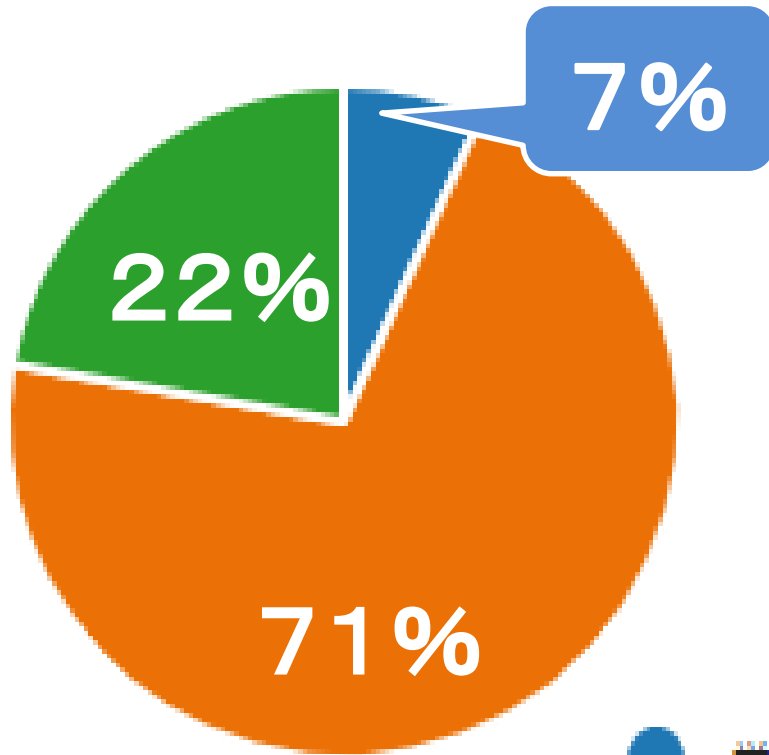
【Formsによる集計】

- ・南佐久全体集計・・・南佐久全体での推進
- ・中学校区別集計・・・各校で次年度の計画や
部活動運営員会等で使用

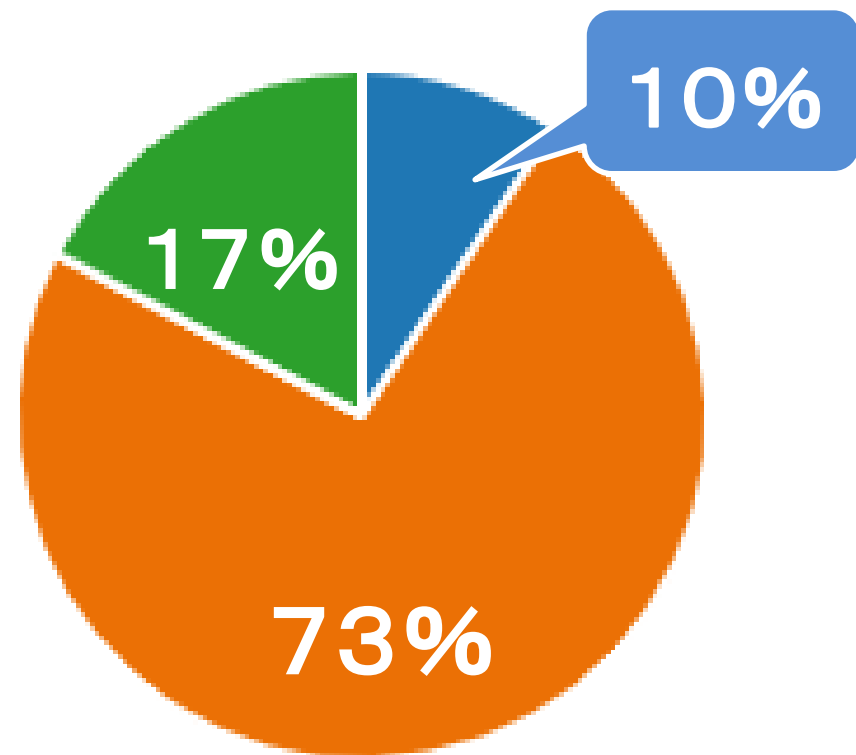
南佐久の取り組み（アンケート調査）

中学生

質問 「部活動の活動時間はどうですか」



【平日】



【休日】

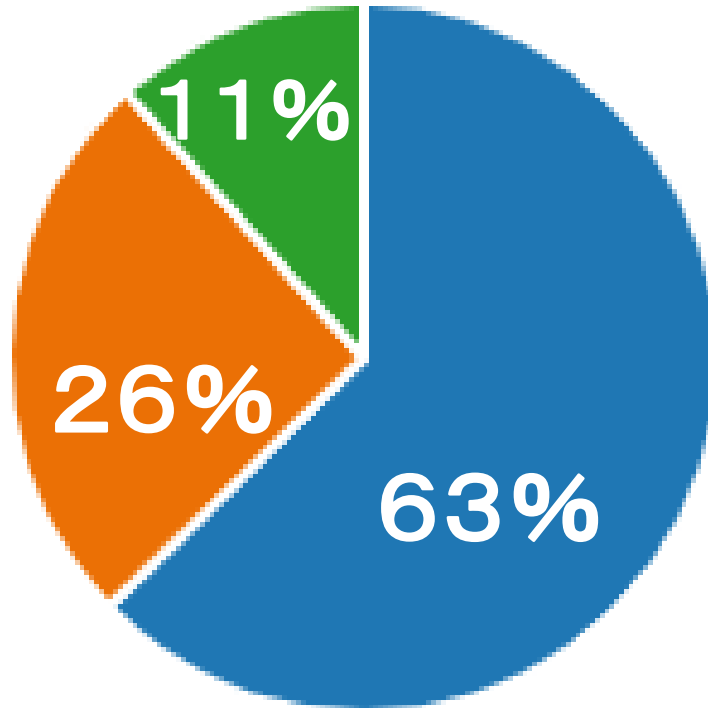
- 厳しい
- ちょうどいい
- まだ余裕がある

令和4年（2022年）7月実施

南佐久の取り組み（アンケート調査）

小学生

質問「近くの中学校が集まって部活動をするということについて、どう思いますか」



● よい

● 不安がある

● その他（分からない、等）

「よい」の理由

- ・希望する部活ができる
- ・いろいろな人と活動できる
- ・広い場所やいい道具で練習できる

「不安」「その他」の理由

- ・他校の人や先輩後輩と仲良くできるか
- ・移動方法がわからない
- ・移動時間やお金がかかる
- ・練習時間が少なくなりそう
- ・コロナが心配

令和4年（2022年）7月実施

南佐久の取り組み

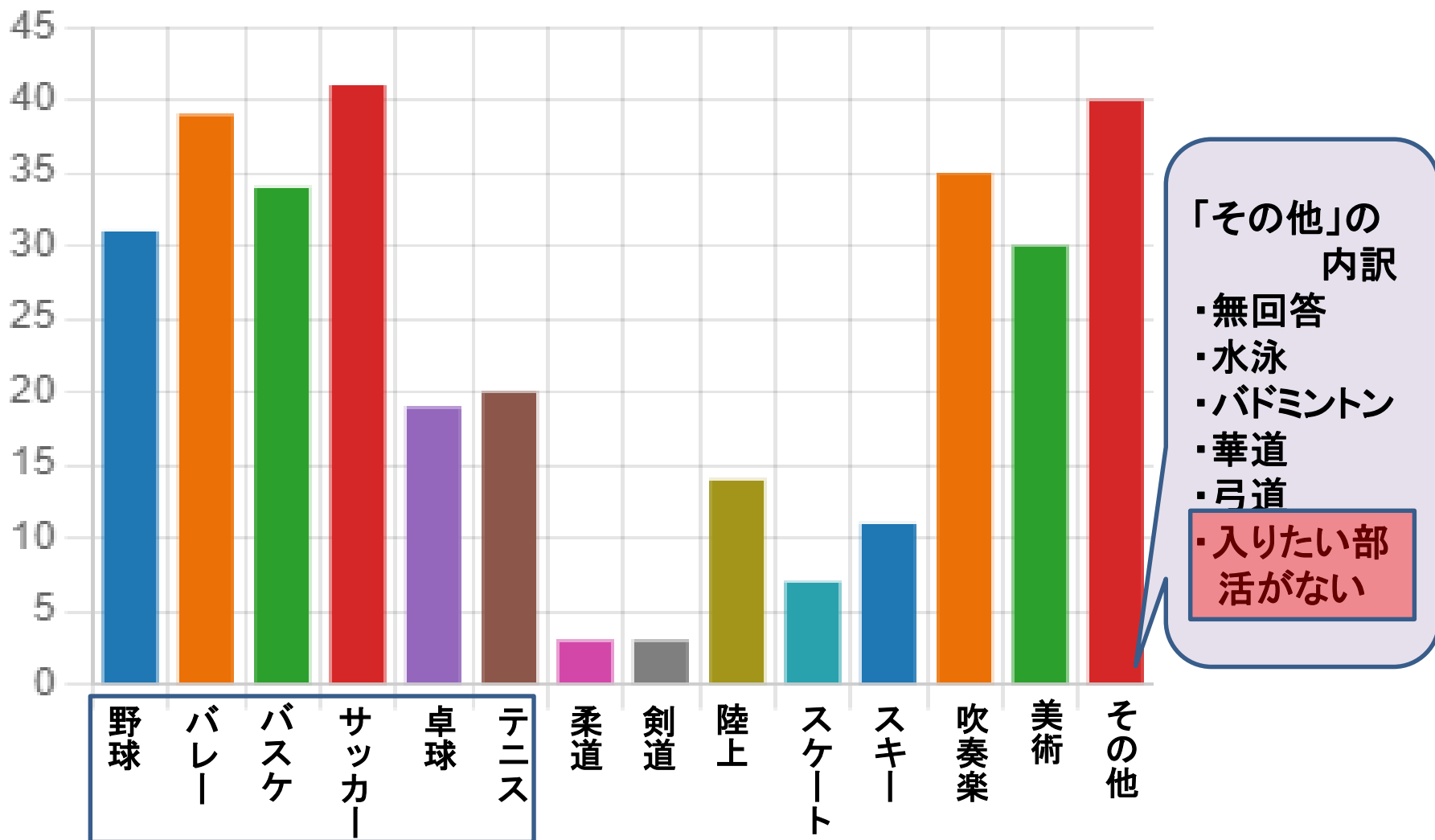
令和4年度

小学生

質問「中学校で入りたい部活」

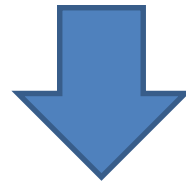
令和4年(2022年)7月実施

(人)



➤結果から

- 中学校では、**スポーツや文化芸術活動**に取組みたい。
- 近くの中学校や地域の指導者と**一緒に活動してお互いに高め合いたい。**
- 自分の学校以外の友だちや指導者の方と、**仲良くできるか不安。**
- 合同練習する場所への**移動手段や時間が心配。**



南佐久の中学生が「**やりたいスポーツ・文化芸術活動**」に参加できる環境づくりが必要

各中学校

職員研修(グループワーク、等)

- ・地域移行について(学習会)
- ・部活動再編案検討



できるためには何をすべきかを検討する

各中学校の部活動運営委員会

参加者: 保護者、教員、評議員、
公民館長、外部指導者、
教育委員会、等



学校・教育委員会

4中学校長、南牧村教委情報交換(月1回以上)

- ・各校の実状と課題整理
- ・推進計画の素案、移行パターン



共通理解を深め、同一歩調で推進

「準備会(2, 3ヶ月に1回程度)」

参加者: 6町村教育長、教委、4中学校長

- ・趣旨の共通理解
- ・検討(予算、事務局、推進、等)



中体連の指針

スポーツ庁の動きを受けた中体連の指針

○人数の足りないチームのその大会限りの合同部活

→特定の地域の学校が集まり、学校単位以外の地域のチームの参加を認める

南佐久の4中の拠点化による合同部活が出場可能

 残された3つ目の課題解決

生徒(中学生)

合同練習会の試行

- ・他校の生徒と一緒に
地域の指導者から指導
(卓球、女男バスケ、サッカー、等)



「楽しい」「やりたい」「できる」経験

小海線を利用して移動

- ・時刻表に合わせた時間設定
- ・駅に近い会場(中学校、等)



生徒(中学生)

令和4年度の拠点校方式合同部活動



	佐久穂中	小海中	南牧中	川上中	拠点校と参加者
男女卓球	0	5	3	2	南牧10
サッカー	3	6	0	0	小海9
男女バスケット	6	1	0	0	佐久穂7
女子バスケット	9	6	4	0	佐久穂19

全員で45名参加 11月から2月まで、土曜日月2回実施 計8回
計8回は地域クラブとして、それ以外は各校で部活動として

生徒(中学生)

令和4年度の拠点校方式合同部活動



- 5月 ○地域移行に向けた今後の部活動の在り方について情報交換会
各学校の部活動の現状と課題について情報交換
県スポーツ課指導主事による研修
- 7月 ○南佐久地域の全中学生・5・6年生対象にアンケート調査を実施
子どもたちの部活動に寄せる願いの把握
- 8月 ○第2回地域移行に向けた部活動の在り方について情報交換会
アンケート結果から、南佐久地域の中学生がやりたいスポーツに参加
できる環境づくりの必要性について協議
○「南佐久中学生スポーツ・文化活動を振興する会」の立ち上げ準備

生徒(中学生)



令和4年度の拠点校方式合同部活動

- 10月 ○「南佐久中学生スポーツ・文化活動を振興する会」の開催
R5年度からの運営について協議(運営主体・予算・組織等について)→**実現可能な合同部活の種目から地域移行をしていく**
○地域移行に向けた部活動合同練習会の計画

- 11月 ○地域移行に向けた部活動の合同練習会の実施
~2月 土曜日月2回実施 計8回 それ以外は各校で部活動として練習

○指導者打ち合わせ会(11/17)指導者講習会・振り返りの会(2/25)

- 2月 ○**郡内6町村の負担金の予算化**
統括コーディネータの選任
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業の申請
○「南佐久郡中学校部活動運営委員会」の開催

生徒(中学生)

令和4年度の拠点校方式合同部活動



○参加者の声(生徒、保護者、教師、指導者等)

＜生徒＞「他校の生徒と普段と違う練習ができて良かった」「学べることが多く、考えることが増えた」等おおむね好評だった

「普段と違う人との練習にやりにくさがある」と感じた生徒もいた

＜指導者＞「人数が増えることで、練習方法も幅が出た。」「やりたいスポーツができるので、合同練習を続けたい。」等前向きな意見が多い
「負担になることがある」という意見も出された

○取組において特に工夫した点

- ・練習時間を電車の時刻に合わせる工夫をして、JRの利用を勧めた。半数の生徒が、JRを利用した。
- ・合同練習会場も、一つの町村に集中しないようにバランス良く配置したため遠いと感じた生徒は少なかった。

生徒(中学生)

令和4年度の拠点校方式合同部活動



コラム



市区町村を超えた広域連携による取組

地域連携・地域移行に際しての課題は地域の事情によって様々あるが、特に、人口の少ない地方部においては、受け皿となる運営団体や指導者等の地域資源、財源にも限りがあり、単独の市区町村では地域のスポーツ環境を整備することが困難な場合も想定される。

限られた地域資源を有効かつ効率的に活用し、子供たちに地域でのスポーツ機会を継続的に提供するためには、近隣の学校や市区町村が連携して地域連携・地域移行の各種取組を実施することも有効な1つの手段として考えられる。

取組例

🔍 南佐久地域6町村が連携した広域連携型の地域移行（長野県南佐久地域）

現状・課題

- 南佐久郡の4中学校では、少子化に伴い団体種目は人数が足りず、学校単独でチームを組めない種目がある状況。また、やりたい種目の部活がないため、部活動に入らない生徒も増えてきている。

対応策

》》 6町村が連携して協議会・運営団体を設立

- 南佐久地域全体で地域移行の体制を整備するため、6町村と学校、地域スポーツ団体を繋ぐ「南佐久中学生スポーツ・文化活動を振興する会（南佐久郡中学校部活動運営委員会）」を設立。
- 運営にあたっては、各町村と学校を繋ぐコーディネーター役を南佐久教育委員会が担うことで、町村を超えた取組でありながらもスムーズな連携を図ることができた。

》》 南佐久郡の4中学校が合同で参加する地域クラブの試行運営

- 令和4年度は、運営委員会の設立とともに、南佐久郡内の4つの中学校が参加して合同での地域クラブ運営も試行的に実施。まずは、単独での活動が困難な種目から地域クラブ活動として練習を開始した。
- 活動範囲が広域に及ぶため、活動場所までの移動手段が課題であったが、練習時間を公共交通機関の発着時間に合わせて設定し、参加者には公共交通機関の利用を推奨した。
- また、活動場所を1つの町村に偏らないように調整することで、広域的な活動ながらも、生徒や保護者の移動への負担感を軽減することに配慮した。

南佐久全体で願いを実現するために

○地域のスポーツ・文化活動として必要な条件
【基本となる条件】
 (仮)南佐久中学生スポーツ・文化活動を振興する会
(南佐久郡中学校部活動運営委員会)
※南佐久管内町村からの負担率により広域連携をすすめていく

【指導者の確保】
 南佐久地域から協議会を構成することを目指す
 指導者の負担は町村からの負担率を前提に運営

【交通の確保】
 各中学校で乗りがないように配慮
 発着となる学校、指導者がいる地域の学校等

【移動費】
 広域的移動を踏まえ、JRや路線の利用を定める

南佐久地域の取組

■ スタートはスポーツ活動から
 想定される推進パターン 活動(種目)の難易度に応じて設定

A: 成立困難な状況の活動
 ①現在実施している合同部活動を地域の活動として移行
 ②懸として未成立の活動を地域の指導者の確保により実施

B: 単独で成立している活動
 ①地域の指導者の確保により、地域移行
 ②長期的視野で、合同を構築

C: スポーツ少年団等との連携が可能な活動
 ・中学生対象の活動を、プラスする等が想定

スポーツ庁

「運動部活動の地域移行等に関する実践研究事例集」

コラム

市区町村を超えた広域連携による取組

南佐久全体で願いを実現するために

○事務局の設置

→佐久穂町教育委員会内

(令和5年度 地域スポーツ活動体制整備委託事業)

→コーディネーターの配置

(謝金、交通費補助、連絡調整等)

○町村から負担金をいただいて運営

→月2回24回の休日を地域移行

→謝金、交通費補助、スポーツ保険、

組織維持のために必要な経費、JR小海線運賃等

→保護者からの負担は無し

【南佐久(6町村)】

町村の負担金

▪ 佐久穂町 R5 地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業

▪ 小海町

▪ 南相木村

▪ 北相木村

▪ 南牧村 R4 地域スポーツクラブ活動体制整備委託事業

▪ 川上村

○小学校 8校

○中学校 4校

(組合立含む)



南佐久の休日における地域移行（地域クラブ）

移行イメージ

令和5年度

町村教委（事務局）が中学校と連携して、指導者や場所の調整

負担金で支援

学校施設

（川上・南牧・小海・佐久穂）

サッカークラブ

指導者

バスケットクラブ

指導者

〇〇クラブ

指導者

〇〇クラブ

指導者

卓球クラブ

指導者

公民館

社会体育施設

公民館施設

休日参加

休日参加

川上中学校

南牧中学校

小海中学校

佐久穂中学校

平日：部活動（顧問・外部指導者・部活動指導員、等）

南佐久全体で願いを実現するために

○統括コーディネータの目標

南佐久郡中学校部活動運営委員会
の発足

願いの実現

南牧村による実践

継続の基礎作り

教育委員会・学校長による話し合い

部活動の現状

保護者・生徒の願い

南佐久全体で願いを実現するために

○統括コーディネータの具体的な仕事

- 1 関係者への周知 ⇒ 会議の開催
- 2 部活動の実態把握 ⇒ 4校校長会
- 3 負担金の管理
口座の開設 指導者への謝金・旅費支給
保護者へJR利用補助の支給
保険への加入 ユニフォーム代の支払い
税務署への源泉徴収の納付
- 4 国の委託金をいただくための書類作成

会議



地域の指導者との打ち合わせ

(1回目:4月24日、2回目:8月30日)

- ・各校長、部活動顧問、地域の指導者、事務局
- ・顔合わせ、合同練習等の打ち合わせ、等

会議

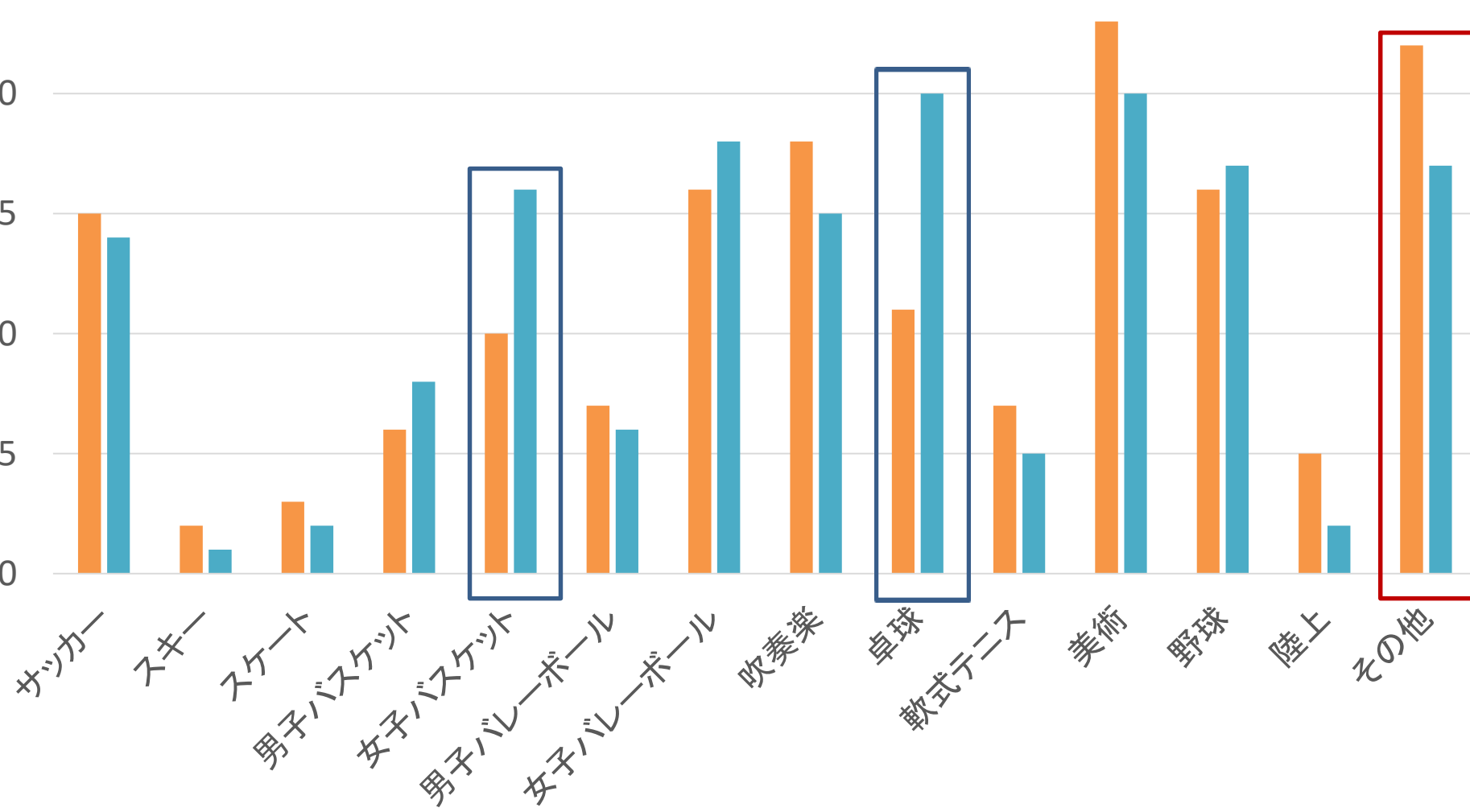


南佐久郡中学校部活動運営委員会(5月11日)

- ・各町村教育長、各中学校長、事務局
- ・運営方針、予算などの確認

令和5年度 中学1年生の入部状況

(人)
25



■ 小学校6年時の希望

■ 中学校1年時の入部

現状と課題（～夏大会）

令和5年度

部活	川上	南牧	小海	佐久穂	休日の練習会場	地域の指導者
野球	単	合同	単	単		
サッカー	0人	拠点 2人	拠点 12人	拠点13人 ※大日向中1人	小海中または佐久穂中	4人
女バレー	単	単	単	単		
男バレー	0人	0人	拠点 1人	拠点 15人	佐久穂中	3人
女バスケ	0人	拠点 7人	拠点 14人	拠点14人 ※大日向中3人	佐久穂中で合同練習会	4人
男バスケ	0人	拠点 5人	拠点 1人	拠点12人 ※大日向中2人	佐久穂中	4人
テニス（男女）	単			単	※合同練習会を行う 場合：佐久穂中	
柔道・剣道	単	団体	団体	団体		
陸上	単	単	団体	団体	※合同練習会を行う 場合：川上中	
卓球	拠点 8人	拠点 4人	拠点 9人	単	小海中 (南牧中央公民館)	4人
水泳	団体	団体		団体		
スケート・スキー	単	単	単			
吹奏楽	単	単	単	単		
美術			単	単		

月に2回程度 地域での活動
中体連の大会に合同チームで参加

男子 バスケット

南牧・小海・佐久穂



バスケット部がない、部員数が少ない学校の生徒
「南佐久チーム」として出場



卓球

川上・南牧・小海

これまでは個人戦しか出場できなかったが、
団体戦に「南佐久チーム」として出場



サッカー

南牧・小海・佐久穂

- ・サッカー部がなかった学校の生徒もサッカーができる、大会に出場できる
- ・佐久地区で唯一、県大会へ出場

負担金
の
管理

1 指導者への謝金・旅費支給

- ① 税務署に相談して
給与支払事務所の開設
給与として源泉徴収 3.063%
旅費に対する課税なし

- ② 指導者の各講座へ謝金等の振込
税務署への税の納付

2 保護者へのJR運賃の補助

年度末にまとめて現金で
保護者への負担軽減

3 保険への加入

スポーツ安全保険への加入

生徒：153名 指導者：28名

参加者が増えるたびに追加加入

ユニフォームの作製

卓球

サッカー

男女バスケット

女子バレー



サッカー

4 委託金をいただくための書類作成

① 指導者へのお願い

業務月報、出張報告書、
自家用車等利用旅費明細書 の提出

⇒ 書類の確認

② 自分自身の仕事に関する書類の作成

7月に届いたひな形に沿って、4月からの
自身の業務について書類を作成

現状と課題（～新人戦）

令和5年度

新人戦に向けた拠点校チーム
拠点化に向けた合同練習会

部活	川上	南牧	小海	佐久穂	休日の練習会場	地域の指導者
野球	単	合同	単	単		
サッカー	0人	拠点 2人	拠点 12人	拠点13人 ※大日向中1人	小海中または佐久穂中	5人
女バレー	単 11人	拠点 4人	拠点 11人	単 8人	小海中学校	4人
男バレー	0人	0人	拠点 1人	拠点 15人	佐久穂中	3人
女バスケ	0人	拠点 7人	拠点 14人	拠点14人 ※大日向中3人	佐久穂中で合同練習会	4人
男バスケ	0人	拠点 5人	拠点 1人	拠点12人 ※大日向中2人	佐久穂中	4人
テニス（男女）	単			単	※合同練習会を行う 場合：佐久穂中	
柔道・剣道	単	団体	団体	団体		
陸上	拠点 9人	拠点 3人	団体	団体	川上中学校	3人
卓球	拠点 8人	拠点 4人	拠点 9人	単	小海中 (南牧中央公民館)	4人
水泳	団体	団体		団体		
スケート・スキー	単	単	単			
吹奏楽	単	単	単	単		
美術			単	単		

部活動の現状と課題

よさ

- ・生徒がやりたい活動ができる
- ・お互いに切磋琢磨し、高め合える仲間づくり
- ・専門的な指導が受けられる
- ・先生方の負担感の減



町村負担金や事務局による活動を支える仕組み

課題

- ・他の部活や平日の合同練習へ拡充
(単独で成立できない活動や文化部など)
- ・地域の指導者の確保
- ・保護者や地域の皆様の理解
- ・南佐久全体で高め合う仲間としての意識づくり
(ユニフォーム、各校や部活動での指導、等)



持続可能にするため、理解や仕組みが必要

部活動の現状と課題

課題

～平日の部活動のあり方～

・部活動を中学校からなくしていいのかという議論

・学校間の距離という物理的な障害や指導者の確保

○休日の集中部活と平日の生徒自身による主体的な練習

○年に数回 水曜日半日授業 午後は各中学校のスクールバスで一斉に移動し、平日の合同部活



課題山積の平日の部活動地域移行

部活動の現状と課題



南佐久ユニフォームを制作し
仲間意識を高める

長野県南佐久郡における中学校部活動の 地域クラブ移行に向けた取り組み



令和5年10月23日 南佐久郡中学校部活動運営委員会